

『時事直言』 No.1339 2019年8月19日

時事直言ホームページ : <http://chokugen.com>
時事直言 携帯サイト : <http://mobile.chokugen.com>
FAX : 03-3956-1313



時事評論家 増田俊男

Samurai Lecturer (サムライ弁士) MASUDA の誓い

8月15日は終戦、敗戦記念日であった。

日本の安全保障に最も関係がある英文で書かれた日米安保第五条を本誌で何度も繰り返し正しい英文法による解説をしてきた通り、日米安保は、日本とアメリカの関係をサンフランシスコ講和条約(1951年)前と同じ状態に維持する為の「米軍対日占領条約」である。

日本の米軍基地はグアム、在韓米軍基地と共に戦後の東西冷戦下での朝鮮戦争(1950-1953 現在休戦中)、ベトナム戦争(1965-1973)、さらにソ連崩壊後の湾岸戦争・砂漠の嵐(1990-1991)、アラブ侵攻(2001-2006)等々アメリカが関わってきた国際地域戦争の前線基地の役割を演じてきた。

米軍の国際安全保障活動(日米安保には極東の安全の為の行動と書かれている)の為日本の行政管区内における米軍の軍事行動の自由を日本が保障しているのがアメリカにとっての日米安保である。

「アメリカは最早世界の警察官ではない」と言うトランプ(アメリカ)の国家指針転換で戦後アメリカと日本の官僚と主カマスコミ主導で根も葉もない「日米安保は日本の安全の要」を「日本の常識」に仕立ててきたプロパガンダは最早不要となった。2026年までの在日米軍撤退を受けて日本は日米安保によるアメリカの軍事占領下から解放されることになる。

吹けば飛ぶような弱小国北朝鮮がアメリカ本土に対して核攻撃が出来る時代に最早アメリカの「核の傘」は存在しないばかりか日米安保という幻想もなくなった。国民第一の民主国家は報復攻撃を伴う核先制攻撃は出来ないが、体制第一国民二の次の独裁国は核先制攻撃が出来る。だから「核の傘」を持つのは独裁国家だけである。日本には核保有能力はあるが民主国家だから先制攻撃は不可能であり日本は核保有の道は選べない。ならば日本は「寄らば大樹の陰」しかなく、アメリカの「核の傘」が消滅した今、一体どの専制国家(大樹)に寄るのかを決めなくてはならない。(前線基地として)アメリカの役に立てなくなって自由になる日本は、先ず政治のABCを勉強して、幻想の大樹(アメリア)無き後の国家指針を決断しなくてはならない。憲法第九条改正、再軍備で自分の頭の上の蠅(ハエ)を追い払えると思っっているようでは政治年齢一歳以下。

日本の真実を言えば「唇寒し」の日本では私も凍え死んでしまう。

終戦記念日にあたって「外からやるしかない」と心に誓った。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、HP : www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 08月19日(月) No. 909 リセッション恐怖でダウ4万ドル、ニッケイ3万円確実！
- 08月09日(金) No. 908 金価格高騰
- 08月06日(火) No. 907 上げ基調に変わりなし
- 08月05日(月) No. 906 円急騰！

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。